

事業	8.2	市審議会等への女性委員の登用推進	事業概要	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守します。
----	-----	------------------	------	---------------------------

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
3	危機管理課	平塚市国民保護協議会	機会を捉え、女性委員選任の働きかけに努めた	国民保護協議会委員の任期途中に人事異動等により委員の交代がある場合は、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行う。	委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行った。	計画どおり実施できた	交代のあった委員選出機関には積極的な働きかけを行ったため	達成	交代のあった委員選出機関には積極的な働きかけを行ったため
4	災害対策課	平塚市防災会議	機会を捉え、女性委員選任の働きかけに努めた	防災会議委員の任期途中に人事異動等により委員の交代がある場合は、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行う。	人事異動による委員の変更に関する報告の依頼文に、女性委員選任を働きかける内容を記載した。（女性割合6%、2/34人）	計画どおり実施できた	計画どおり、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を働きかけたため	達成	機会を捉え、女性委員選任の働きかけに努めたため
5	企画政策課	平塚市行政改革推進委員会	委員の女性割合が40%になった	委員に欠員が生じた場合には、男女共同参画プラン2017【後期見直し版】の取組や考え方を念頭に置いた委員選出をお願いする。	欠員が生じず新たな委員選出を行わなかったため、全体に占める女性委員の割合について、令和4年度から増減はなかった。（女性委員割合 28.5%、数2/7）			未達成	目標値を大きく下回ったため
		平塚市総合計画審議会	委員の女性割合が40%になった	委員募集に当たっては、男女共同参画プラン2017【後期見直し版】の取組や考え方を念頭に置いた委員選出をお願いする。	総合計画審議会の設置に伴い、男女共同参画プラン2017【後期見直し版】の取組を踏まえた委員の推薦を各団体へ依頼し、市の考え方を周知した。しかしながら、各団体から推薦された者は、市側から役職を指定していないが、主に男性が担っている代表又は副代表であったことから、結果、全体に占める女性委員の割合は23人中2人となり、8.7%となった。	計画どおり実施できた	男女共同参画プラン2017【後期見直し版】の考え方に基いて取り組んだため	未達成	目標値を大きく下回ったため
8	資産経営課	平塚市ネーミングライツパートナー選考委員会	外部委員について、女性割合が33.3%（外部委員3人中1人）となった	・平塚市ネーミングライツパートナー選考委員会において外部委員1名の女性登用に努める。 ・企業等からネーミングライツの提案を受けた時点で依頼する外部委員は各専門分野の関連団体等の推薦により選出しているが、その際に女性委員の推薦に配慮していただくよう依頼する。	平塚市ネーミングライツパートナー選考委員会を開催しなかったため実績がなかった			達成	外部委員として女性委員2人を登用した（女性割合66%・2/3人）ため
		平塚市指定管理者選定等委員会	外部委員について、女性割合が40%（外部委員5人中2人）となった	・平塚市指定管理者選定等委員会において外部委員2名の女性登用に努める。 ・外部委員は各専門分野の関連団体等の推薦により選出しているが、その際に女性委員の推薦に配慮していただくよう依頼する。	平塚市指定管理者選定等委員会を2回開催し、外部委員について女性委員の推薦を配慮するよう依頼したが、女性委員の登用は出来なかった。	計画どおり実施できた	女性委員の登用は出来なかったため	未達成	女性委員の登用は出来なかったため
10	行政総務課	平塚市行政不服審査会	附属機関の委員委嘱に当たっては、女性委員の登用促進のため推薦団体に働きかけるよう努め、委員3名中1名以上の女性委員を登用した	行政不服審査会委員の任期継続中のため特段の働きかけは行わない。（R7.3.31任期満了となる見込み）	事業計画のとおり実施しておらず、実績はない。			達成	委員3名中1名の女性委員を登用しているため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）					
					事業実績	事業計画		事業目標		
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由	
11	職員課	公務災害補償等審査会	女性割合が67%（委員3人中2人）となった	R5年度の改選に向けて、団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は現状（委員3人中2人）を維持する。	改選の結果、女性割合が67%（委員3人中2人）となった。	計画どおり実施できた	計画どおり実施したため	達成	事業目標を達成したため	
		平塚市公務災害等審議会	女性割合が50%（委員4人中2人）となった	R5年度の改選に向けて、団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は50%以上（委員4人中2人）とする。	改選の結果、女性割合が50%以上（委員4人中2人）となった。	計画どおり実施できた	計画どおり実施したため	達成	事業目標を達成したため	
		平塚市特別職報酬等審議会	女性割合が40%（委員10人中4人）となった	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%（委員10人中4人）とする。	R5年度は実績なし					
		平塚市退職手当審査会	女性割合が40%（委員5人中2人）となった	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%（委員5人中2人）とする。	R5年度は実績なし					
12	契約検査課	平塚市入札監視委員会	女性割合40%	委嘱年度のため、女性委員の委嘱に向けて調整する。	調整の結果、R5.11.1付けで女性委員1名を委嘱した。（女性委員割合25%、1/4名） 推薦依頼の際に女性委員の登用について配慮いただくようお願いした。	計画どおり実施できなかった	委員の性別は、最終的に推薦団体からの推薦結果によるため	未達成	4名の委員のうち交替は1名のみで、推薦団体から男性の委員が推薦されたため	
18	農水産課	平塚市地方卸売市場運営審議会	農水産課みなと水産担当が運営に関わっている平塚市地方卸売市場運営審議会の委員に女性を登用し、委員を女性5名（全体11名）とした	本年度は改選の予定がなく、前年度改選された女性委員に引き続きお願いする。	令和5年6月の委員改選において2名の女性委員が登用された。	計画どおり実施できた	参加を促し女性委員の登用があったため	未達成	目標の登用数が達成できなかったため	
21	協働推進課	平塚市市民活動推進委員会	女性割合40%を維持した	就任する委員について男女比を考慮するとともに、委員推薦を依頼する団体等に対しても女性委員の積極的な推薦について依頼する。任期途中に退任する委員が出た場合も同様とする。	平塚市市民活動推進委員会委員（女性割合55.5%、5/9人）	計画どおり実施できた	目標基準を上回ったため	達成	目標基準を上回ったため	
		平塚市協働事業審査会	女性割合 40%	就任する委員について男女比を考慮するとともに、委員推薦を依頼する団体等に対しても女性委員の積極的な推薦について依頼する。任期途中に退任する委員が出た場合も同様とする。	平塚市協働事業審査会委員（女性割合28.6%、2/7人）	計画どおり実施できなかった	女性委員登用に努めたが至らなかったため	未達成	女性委員登用に努めたが至らなかったため	
		平塚市市民活動推進補助金審査会	女性割合 40%	就任する委員について男女比を考慮するとともに、委員推薦を依頼する団体等に対しても女性委員の積極的な推薦について依頼する。任期途中に退任する委員が出た場合も同様とする。	平塚市市民活動推進補助金審査会委員（女性割合42.9%、3/7人）	計画どおり実施できた	目標基準を上回ったため	達成	目標基準を上回ったため	

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
23	市民情報・相談課	平塚市情報公開審査会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	委員改選年度に当たることから、女性委員の女性比率を4割（5人中2人）に上げるために、情報公開について学識経験を有する女性委員候補を見つける努力をする。	大学職員に女性が少なく、また、いつもお願いしている弁護士事務所にも尋ねているが、女性委員の候補は難しい旨お話しがあった。	計画どおり実施できなかった	実績のとおりであったため	未達成	実績のとおりであったため
		平塚市個人情報保護審査会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	委員改選年度に当たることから、現職委員の後任について、委員の女性比率を4割（5人中2人）に上げるために、情報公開について学識経験を有する女性委員候補を見つける努力をする。	現職委員定数が7人に変更され、内2人が女性の委員を選任している。	計画どおり実施できた	7人中2名を女性の委員を選任できた。	達成	実績のとおりであったため
		平塚市個人情報保護運営審議会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	令和4年度で廃止					
24	文化・交流課	平塚市文化振興懇話会	構成員の女性割合が40%～60%（7人中3人～4人）となった	構成員がR7.3.31まで継続する。	構成員の女性割合に変更はなく、女性割合は28%（7人中2人）となっている。	計画どおり実施できた	改選時に啓発チラシにより働きかけを行っているため	未達成	女性割合が28%となっているため
25	人権・男女共同参画課	ひらつか男女共同参画推進協議会	女性割合が50%（委員8人中4人）となった	R5年度の改選に向けて、団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は50%（委員8人中4人）を維持する。	委員の改選に当たり、男女比を考慮した推薦の配慮を団体等へ依頼した。委員8人のうち女性4人（男女比50%）となった。	計画どおり実施できた	男女比を考慮した推薦の配慮を団体等に依頼できたため	達成	女性割合の目標を達成できたため
		平塚市人権施策推進協議会	女性割合が40%～60%（委員10人中4人～6人）となった	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%～60%（委員10人中4人～6人）とする。	実績（改選）なし			達成	女性割合の目標を達成できたため
		平塚市いじめ問題再調査会	女性割合が40%～60%（委員5人中2人～3人）となった	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%～60%（委員5人中2人～3人）とする。	委員選出する際の推薦に係る協力依頼はしたが、開催がなく、選出に至らなかった。				

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
26	福祉総務課	平塚市民生委員推薦会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時には、推薦団体に可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。	委員の改選はなかったが、2名の交代があり、選出依頼時に可能な限り女性委員を選出するよう依頼した。結果、1名の女性委員が登用された。	計画どおり実施できた	実績記載のとおり	未達成	各団体からの推薦が結果的に男性であったため
		平塚市自殺対策会議	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時に推薦団体へ女性委員の推薦に配慮していただけるよう依頼する。	今年度は改選機会がなかったため、実績がなかった。			未達成	女性員割合は30%であったため
		平塚市災害弔慰金等審査委員会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時には、推薦団体に可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。	この間に改選機会はなかったため特段の取組みをしていないが、有ったとしたら計画通りに可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。			未達成	実績記載のとおり
		平塚市地域福祉計画策定委員会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時には、推薦団体に可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。	各団体へ女性委員の推薦について配慮してもらえよう依頼した。また、推薦を依頼しない委員選出にあたっては、女性委員を優先的に登用した。	計画どおり実施できた	実績記載のとおり	未達成	各団体からの推薦が結果的に男性であったため
		平塚市成年後見制度利用促進協議会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時に推薦団体へ女性委員の推薦に配慮していただけるよう依頼する。	令和5年度は、改選機会はなかったため特段の取組みをしていない。有ったとしたら計画通りに可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。			未達成	女性割合（2/9 22.2%）と、目標の40%に達しなかったため
		平塚市地域福祉推進懇話会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時には、推薦団体に可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。	現在休止中のため実績なし				
		平塚市自殺対策懇話会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時に推薦団体へ女性委員の推薦に配慮していただけるよう依頼する。	今年度は改選機会がなかったため、実績がなかった。			未達成	女性員割合は30%であったため
		平塚市成年後見制度利用促進懇話会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時に推薦団体へ女性委員の推薦に配慮していただけるよう依頼する。	令和5年度は、改選機会はなかったため特段の取組みをしていないが、有ったとしたら計画通りに可能な限り女性委員を選出するよう依頼する。			未達成	女性割合（2/9 22.2%）と、目標の40%に達しなかったため
		平塚市生活困窮者自立支援懇話会	女性割合を40%を目指し、女性委員の登用に努めた	委員の改選時に推薦団体へ女性委員の推薦に配慮していただけるよう依頼する。	委員の改選がなかったため、実績なし。				
27	高齢福祉課	養護老人ホーム入所判定委員会	女性割合 40%	女性割合40%各機関に女性の委員選出を依頼する。	令和5年度は委員の一部改選が行われたが、実績の変動はない。（女性委員割合22.2%、2/9人）	計画どおり実施できなかった	選出された女性委員の割合が低かったため	未達成	選出を各機関に依頼しているが、女性の選出が少なかったため
		平塚市特別養護老人ホーム整備事業者及び平塚市有料老人ホーム設置事業者選考委員会	女性割合 40%	各機関に女性委員の選出を依頼する。	選考委員会が設置されなかったため、実績なし。				

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
28	地域包括ケア推進課	平塚市地域包括支援センター運営協議会	女性の割合40%	女性比率を維持	委員11人中5人が女性委員となり、女性の割合45.5%	計画どおり実施できた	女性の割合が40%を超えているため	達成	目標達成のため
		平塚市在宅医療介護連携推進協議会	女性の割合40%	女性比率を維持	委員15人中7人が女性委員となり、女性の割合46.7%	計画どおり実施できた	女性の割合が40%を超えているため	達成	目標達成のため
29	障がい福祉課	平塚市障害者介護給付費等の支給に関する審査会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守した	令和6年度の改選に向けて、関係機関に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%（委員12人中5人）を目途とする。	令和6年度委員の改選が行われ、女性割合が増加することはなかったが、引き続き男女比を考慮した推薦について検討してもらう。	計画どおり実施できた	男女比を考慮した推薦について検討を進めてもらったため	達成	男女比を考慮した推薦について検討を進め、「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守したため
		平塚市障がい福祉施策推進懇話会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守した	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。女性割合は40%以上（委員10人中4～5人）を目途とする。	開催がなかったが、開催があった場合には、団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いすることとした。				
31	介護保険課	平塚市介護保険運営協議会	選任時には指針を踏まえて行った女性割合は40%以上（委員15人中6人以上）	協議会委員の任期内であるため、任期中の委員交代がある場合については、推薦団体へ可能な限り配慮をしていただくよう選任時に依頼をする。	任期中に委員の交代があり、女性委員を選任することができた。（女性割合28.6%、4/14人）	計画どおり実施できた	女性委員の選任について、推薦団体へ可能な限り配慮をしていただくよう依頼したため	未達成	委員交代にあたり、女性割合が目標に到達しなかったため
		平塚市地域密着型サービス事業者選考委員会	選任時には指針を踏まえて行った女性割合は33%以上（委員3人中1人以上）	選考委員会が開かれる場合には、委員選任時に女性委員の登用について指針を踏まえて行う。	選考委員会が開かれなかったため実績がなかった。				
		平塚市介護認定審査会	選任時には指針を踏まえて行った女性割合は40%以上（委員56人中23人以上）	審査会委員の任期内であるため、任期中の審査会委員の交代がある場合については、推薦団体へ可能な限り指針を踏まえた推薦を依頼する。	委員の交代に伴い、委員選定について推薦団体へ指針を踏まえた依頼を行ったが、女性割合が委員55人中16人と減少した。	計画どおり実施できた	委員選定について推薦団体へ指針を踏まえた依頼を行ったため	未達成	女性委員の割合が40%を下回ったため
32	保育課	平塚市子ども・子育て会議	女性割合が42%となった（委員19人中8人）	委員選任時には、女性委員の登用について、指針を踏まえて行う。女性割合は42%（委員19人中8人）を維持する。	団体から女性委員の推薦もあり、指針を踏まえて、委員を選任した。（女性割合58%）	計画どおり実施できた	指針を踏まえて、女性委員の登用ができたため	達成	女性割合が評価基準に達しているため
34	健康課	市民健康づくり推進協議会	女性委員の割合 40%	令和5年度は4年度に改選した委員がそのまま、構成員となる。	市民健康づくり推進協議会は、地域団体の代表者3名、医療関係団体の代表者3名、学識経験者1名、関係行政機関の職員1名、保育・教育関係団体の代表者2名、事業者の代表者1名、公募に応じた市民1名。内女性委員は6名。（50%）	計画どおり実施できた	目標40%のところ50%のため	達成	目標40%のところ50%のため
		平塚市母子保健事業推進連絡会	女性委員の割合 50%	医師会、歯科医師会、保健福祉事務所において委員の構成をしている。委員の選出に当たり女性の推薦について依頼をしていく。	1人/4人（25%）	計画どおり実施できた	女性の積極的な推薦を依頼しているため	未達成	女性の積極的な推薦を依頼しているが、目標の40%には達しなかったため
		平塚市食育推進会議	女性委員の割合 50%	平塚市食育推進会議条例に則り、学識経験者、食に関する分野の団体の代表者、保育・教育分野の団体の代表者、保健分野の団体の代表者、公募に応じた市民で委員の構成をしている。委員選出に当たり、女性の登用推進を図る。	食育推進会議委員は、学識経験者1名、食に関する分野の団体代表者5名、保育・教育分野の団体代表者5名、保健分野の団体代表者3名、公募市民委員2名の計16名。内女性委員は13名。（81%）	計画どおり実施できた	目標50%のところ81%のため	達成	目標50%のところ81%のため
		平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会	女性委員の割合 50%	令和5年度も委員会を開催する予定だが、5年度は委員改選の年でもあるので、女性委員の割合が適正になるよう働きかけを行う。	子どもの生活習慣病対策委員会は、医師2人、歯科医師1人、保育所・幼稚園又は小学校の保護者から2人、幼稚園・保育所・認定こども園の職員3人、小学校長1人、養護教諭1人、栄養士3人、学識経験者1人の計14人。内、女性委員は9人。（64%）	計画どおり実施できた	目標50%のところ64%のため	達成	目標50%のところ64%のため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
35	青少年課	平塚市青少年問題協議会	委員構成において女性委員の割合を40%とした	非改選期のため特段なし	非改選期のため特段なし			未達成	女性委員割合21% (5/24人)と、目標の40%には達しなかったため
36	保険年金課	平塚市国民健康保険運営協議会	市審議会等の女性割合40%	国民健康保険運営協議会の委員改選年度ではないが、任期中中に退任する委員が出た場合は、関係団体に女性参加の協力を求めるなどして、女性委員6名を目標とする。	任期中中に退任する委員1人に対し、新委員は男性だった。年間を通し全委員13人中女性委員は1人で、目標は達成できなかった。(7パーセント)	計画どおり実施できなかった	1名の退任委員がいたが、新委員の女性委員は0人で目標に到達できなかったため	未達成	目標である女性委員6人に到達できなかったため
37	環境政策課	平塚市環境審議会	女性割合 40% (委員15人中6人)	任期中のため、改選の予定なし  任期中の委員変更がある場合には、委員の推薦を依頼する団体内での推薦可能な女性の有無を確認し、同団体に推薦可能な女性の推薦を依頼する。 ※委員任期(R5年・R6年)	平塚市環境審議会は、令和5年4月に改選した。なお、環境審議会の女性割合20%（3人/15人中）であり、内訳は、学識経験者1人、団体推薦2人である。	計画どおり実施できなかった	できる限り配慮したが、結果として目標に達成することができなかったため	未達成	できる限り配慮したが、結果として目標に達成することができなかったため
		平塚市廃棄物対策審議会	女性割合 36%～45% (委員11人中4人～5人)	任期中のため、改選の予定なし  任期中の委員変更がある場合には、委員の推薦を依頼する団体に対し、推薦可能な女性の有無を確認し、同団体に推薦可能な女性の推薦を依頼する。	任期中のため改選はありませんでしたが、委員の一部に変更がありました。女性割合27.3%（3人/11人中）であり、内訳は、関係行政機関1人、団体推薦2人である。	計画どおり実施できなかった	できる限り配慮したが、結果として目標に達成することができなかったため	未達成	できる限り配慮したが、結果として目標に達成することができなかったため
41	まちづくり政策課	平塚市都市計画審議会	女性割合が40%（委員15人中6人）となった	任期中のため、改選の予定なし。	年度途中の委員変更があったが、実績が無かった。 (女性委員割合0%、0/15人)			未達成	女性割合を増加させることができなかったため
		平塚市景観審議会	女性割合が40%（委員5人中2人）となった	令和5年度末の委員改選時に、新たな委員を登用することになった場合には、女性委員の割合が40%（委員5人中2人）とするように努める。	年度途中の委員変更も無く、事業目標どおりの女性割合を維持できた。 女性割合40%（委員5人中2人）			達成	事業目標どおり女性割合を維持できたため
		平塚市開発審査会	女性割合が40%（委員5人中2人）となった	任期中のため、改選の予定なし。	年度途中の委員変更があったが、実績が無かった。（女性委員割合0%、0/5人）	計画どおり実施できなかった	女性割合を増加させることができなかったため	未達成	女性割合を増加させることができなかったため
		平塚市建築審査会	女性割合が40%（委員5人中2人）となった	任期中のため、改選の予定なし。	年度途中の委員変更があったが、目標を達成できなかった。（女性委員割合20%、1/5人）	計画どおり実施できなかった	女性割合を増加させることができなかったため	未達成	女性割合を増加させることができなかったため
		平塚市空家等対策協議会	女性割合が40%（委員9人中4人）となった	任期中のため、改選の予定なし。	任期中のため、実績が無かった。 (女性割合10%、委員9人中1人)			未達成	女性割合を増加させることができなかったため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
43	開発指導課	平塚市開発事業紛争調停委員会	女性構成比40%（委員5人中2人）を維持した	平塚市開発事業紛争調停委員会委員の改選時ではないため、計画なし	実績なし			達成	女性構成比が40%（5人中2人）と目標に達しているため
45	都市整備課	平塚市住居表示審議会	公募委員の女性割合が50%以上（委員2人中1人）となった	公募市民の選考において男女比率に配慮する。女性割合は50%以上（委員2人中1人）を維持する。	住居表示審議会市民委員の募集を行い、応募のあった市民の2名を委員として委嘱した。2名のうち、1名は女性の委員となっている。	計画どおり実施できた	事業計画を満たしているため	達成	事業の目標を満たしているため
48	建築住宅課	平塚市営住宅運営審議会	平塚市営住宅運営審議会委員7名のうち、女性委員が3名以上になるよう努めた	改選期の平塚市営住宅運営審議会委員7名のうち、女性委員が3名以上になるよう努めます。	平塚市営住宅運営審議会委員7名のうち、女性委員は2名となった。（28%）	計画どおり実施できなかった	市民委員として男性の公募のみであったため	未達成	40%に満たせなかったため
52	下水道経営課	平塚市下水道運営審議会	女性割合が40%となった（委員11人中5人）	任期終了に伴う団体等の委員推薦に当たって、男女の配慮を含めた依頼をする。	選出母体の各団体に委員推薦を依頼した際に女性委員の推薦考慮を依頼した。R5年7月改選では下水道運営審議会委員11人のうち女性委員2人となった。（女性委員割合18.18%）	計画どおり実施できた	女性委員の推薦を考慮いただくよう依頼したため	未達成	結果として各団体から男性委員の推薦を多くいただいたため
62	学務課	平塚市中心臓疾患判定委員会	所管する審議会等は、専門的な知識、経験が必要な審議会であるため、男女共同参画の視点も踏まえた選任に向けて関係機関に働きかけた	委員の推薦をする際には、関係機関へ男女共同参画の現状を伝える。	委員選任の際に、男女共同参画の視点も踏まえた推薦依頼をしたが、委員5名全員が男性となった。	計画どおり実施できた	選任の際に男女共同参画の視点を伝えたため	達成	推薦依頼で性別の指定はできず、各団体の意向によるが、選任に向けて働きかけたため
		平塚市腎臓疾患判定委員会	所管する審議会等は、専門的な知識、経験が必要な審議会であるため、男女共同参画の視点も踏まえた選任に向けて関係機関に働きかけた	委員の推薦をする際には、関係機関へ男女共同参画の現状を伝える。	委員選任の際に、男女共同参画の視点も踏まえた推薦依頼をしたが、委員4名全員が男性となった。	計画どおり実施できた	選任の際に男女共同参画の視点を伝えたため	達成	推薦依頼で性別の指定はできず、各団体の意向によるが、選任に向けて働きかけたため
		平塚市結核対策委員会	所管する審議会等は、専門的な知識、経験が必要な審議会であるため、男女共同参画の視点も踏まえた選任に向けて関係機関に働きかけた	委員の推薦をする際には、関係機関へ男女共同参画の現状を伝え、学校関係者からの委員選出に当たっては、女性委員が半数以上（学校関係者委員3人中2人）の推薦となるよう努める。	委員選任の際に、男女共同参画の視点も踏まえた推薦依頼をした。委員7名中、2名が女性となった。（学校関係者委員3人中2人）	計画どおり実施できた	選任の際に男女共同参画の視点を伝え、学校関係者からの委員選出に当たって、女性委員が半数以上の推薦となったため	達成	関係機関へ女性委員の選任に向けて働きかけ、学校関係者からの委員選出に当たって、女性委員が半数以上の推薦となったため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
64	教育指導課	平塚市立学校事故・事件等調査委員会	所管する平塚市立学校事故・事件等調査委員会は、重大な事案があった場合に必要に応じて設置することとしている。不定期での委員選任となるが、その際には男女共同参画の視点も踏まえ女性割合が40%となるよう選任に向けて関係機関に働きかけた	開催があった場合には団体等に男女比を考慮した推薦の配慮を依頼する。	審議会の委員選任がなかったため、実績はなかった。				
		平塚市いじめ問題対策連絡協議会	女性割合が40～60%（委員15人中6～9人）となった	令和4年度以降の開催を見据え、団体等に男女比を考慮した委員の派遣を依頼する。	平塚市いじめ問題対策連絡協議会は、女性割合29%、4/14人	計画どおり実施できなかった	女性割合が40%に満たなかったため	未達成	女性割合が40%に満たなかったため
		平塚市いじめ問題対策調査会	女性割合が40～60%（委員5人中2～3人）となった	令和5年の改選に向けて、団体等に男女比を考慮した推薦の配慮をお願いする。	平塚市いじめ問題対策調査会女性割合60%、3/5人	計画どおり実施できた	女性割合が40%を超過したため	達成	女性割合が40%を超過したため
66	子ども教育相談センター	平塚市教育支援委員会	女性割合が40%～60%（委員24人中10人～14人）となった	R6年度に向けて委員会委員の変更があるため、男女構成比も考えて、委員を委嘱、任命する。女性割合は40%～60%（委員24人中10人～14人）とする。	R5年度の教育支援委員会の女性割合が50%となった（女性委員数12人/24人）	計画どおり実施できた	事業の目標を達成したため	達成	事業の目標を達成したため
67	社会教育課	平塚市社会教育委員（会議）	女性割合40%以上	（R4・5年度委員任期中のため、特段の取組みなし）	次期の改選に向けて、各選出団体には女性委員推薦について配慮いただくよう文書にて依頼した。	計画どおり実施できた	女性委員推薦について配慮いただくよう文書にて依頼したため	達成	11名のうち女性委員は6名で、女性割合は54.5%であったため
		平塚市文化財保護委員会	文化財専門委員7名のうち女性2名以上	R5年度委員委嘱に向けて、女性登用促進について周知し、現委員から女性の各文化財専門家の情報を収集し推薦を促す。	令和5年10月の委員改選に際して女性委員の情報を収集し、推薦を促した。	計画どおり実施できた	現委員に対し、女性委員候補の情報を収集したため	未達成	女性委員2名の目標に対し、1名の選任となったため
69	スポーツ課	平塚市スポーツ推進審議会	女性委員の割合を約43%（委員14人中6人）以上にした	次年度の委員が改選期を迎えるため、推薦母体となる団体に対し、女性委員の参加の余地などを確認しつつ、可能な範囲で女性委員を推薦いただけるよう働きかける。	改選期ではないので、変更はなかった。ただ、女性委員1人が任期途中で退任されたが、後任にも女性委員が任命された。	計画どおり実施できた	退任による後任については推薦団体に対して引き続き女性委員の推薦を促したため	未達成	女性委員割合、約27%（4/15名）で目標の約43%（委員14人中6人）には達しなかったため



ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	市審議会等	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
					事業実績	事業計画		事業目標	
						実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
70	中央図書館	平塚市図書館協議会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	R5年8月の委員改選に向けて、関係団体へ委員の選任依頼と公募作業を行う。女性割合は50%（委員6人中3人）を目指す。	平塚市図書館協議会における女性割合50%（委員6人中3人）	計画どおり実施できた	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、委員選任作業を進めることができたため	達成	目標どおり達成しているため
		平塚市子ども読書活動推進懇話会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	休会					
71	博物館	平塚市博物館協議会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%（委員6人中3人）となるよう努めた	令和6年5月の委員改選に向けて、候補者選定と公募作業を行う。女性委員の割合が40%（委員6人中3人）となるよう努める。	新委員への委嘱について、女性委員3人に委嘱できた。また、協議会での女性委員の発言機会を確保できた。	計画どおり実施できた	女性委員3人に委嘱できたため	達成	女性委員の割合が40%以上（委員6人中3人）となったため
72	美術館	平塚市美術館協議会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	R5年8月の委員改選に向けて、関係団体へ委員の選任依頼と公募作業を行う。	R5年8月の委員改選に向けて、関係団体へ委員の選任依頼と公募作業を行った。	計画どおり実施できた	「固定的な男女の役割分担意識の改革」の視点を持って取り組むことができたため	未達成	女性の割合が37.5%と目標に達しなかったため
		平塚市美術品選定評価委員会	「附属機関及び懇話会等に関する指針」を遵守し、女性委員の割合が40%となるよう努めた	改選期でないため委員の変更はなし。ただし、欠員が生じた場合は委員の選任依頼を行う。	改選期でもなく、欠員も生じなかったため、専任依頼は実施しなかった。			達成	目標値を達成しているため
77	経営企画課	平塚市病院運営審議会	女性割合が40%となった	委嘱に当たり、各団体への推薦を依頼するとともに、公募委員の選考を行う。女性割合40%を目指す。	委員の推薦依頼、募集に当たっては、性別にかかわらず、適任者の推薦を依頼した。（女性委員割合16.7%、2人/12人）	計画どおり実施できた	予定通り、推薦依頼、公募を行ったため	未達成	女性割合が40%に達しなかったため
79	医事課	平塚市民病院倫理委員会	医学分野以外の学識経験者の女性割合が50%となった	医学分野以外の学識経験者の女性割合50%を維持する。	倫理委員会を4回開催。4回とも学識経験者2名が参加し、女性割合50%を維持しました。	計画どおり実施できた	医学分野以外の学識経験者の女性割合50%を維持できたため	達成	医学分野以外の学識経験者の女性割合50%を維持できたため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

事業	13	地域への意識啓発	事業概要	「みんなのまち情報宅配便」等で各課職員が地域で説明する際、本市の男女共同参画の状況の資料を配布する等して、意識啓発をします。
----	----	----------	------	--

課No	担当課	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
				事業実績	事業計画		事業目標	
					実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
2	広報課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」で、資料配布又は、開催挨拶で男女共同参画の現状を一つ以上伝える。	「みんなのまち情報宅配便」による講座をオンラインで開いた際に、男女共同参画の状況の資料について周知した。	計画どおり実施できた	みんなのまち情報宅配便の依頼があり周知できたため	達成	事業の目標を達成することができたため
4	災害対策課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「総合防災訓練」「女性防災コミュニティ講座」「自主防災訓練」等で、女性と男性のニーズの違いに配慮した取組例や男女共同参画の視点からの防災の重要性について周知を図る。	「総合防災訓練」「自主防災訓練」で男女共同参画の現状を伝えるとともに、「女性防災コミュニティ講座」においては、男女共同参画の視点での防災・災害対応の重要性などを周知した。	計画どおり実施できた	各訓練の目的、参加者等の状況に応じて、男女共同参画の視点で適切に周知できたため	達成	各種訓練等において女性目線の防災、男女共同参画の視点での防災などの重要性について周知できたため
14	納税課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布する。	「みんなのまち情報宅配便」の申し込みがなかったため、実績なし				
17	産業振興課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」実施時に、本市の男女共同参画の状況の資料を配布する。	「みんなのまち情報宅配便」での資料配布は行わなかったが、「ひらつか労働ニュース」にてイクボスプロジェクト等の情報を掲載し、周知に努めた。	計画どおり実施できた	事業周知に取り組んだため	達成	事業周知に取り組んだため
18	農水産課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	農業者の集まりなどにおいて、平塚市の男女共同参画の取組紹介や資料の配布等を行う。	「みんなのまち情報宅配便」で、本市農業の状況と女性の担い手の必要性を資料を用いて説明した。	計画どおり実施できた	資料を配布し啓発を図ったため	達成	資料を配布し啓発を図ったため
19	商業観光課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」で、資料配布又は、開催挨拶で男女共同参画の現状を一つ以上伝える。	「みんなのまち情報宅配便」の開催なしのため実績がなかった。				
21	協働推進課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	地域への出向き 「みんなのまち情報宅配便」	みんなのまち情報宅配便での地域への出向きはなかったが、協働事業での地域でのワークショップや地域の会議に参加する際にチラシを配布し、意識啓発を図った。	計画どおり実施できた	チラシ等の配布により積極的に意識啓発を図ったため	達成	チラシ等の配布により積極的に意識啓発を図ったため
23	市民情報・相談課	消費者被害未然防止講座等で男女共同参画の状況等の資料を配布し、男女共同参画の状況を理解する市民の数が増えた	消費生活出前講座等で男女共同参画の状況等の資料を配布する。	消費生活出前講座等で子育て世代及び若年層の参加者が多い講座3回39人に、男女共同参画への平塚市の取り組み等について話し、資料を配布した。	計画どおり実施できた	子育て世代等の参加の多い講座で資料を配布したため	達成	男女共同参画の考え方について啓発できたため
24	文化・交流課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」の「平塚市の国際交流事業」について、多文化共生社会の推進、人権の尊重、姉妹都市アメリカ合衆国カンザス州ローレンス市の歴史からくると人権の考え方、多様性について、市民に紹介する。	「みんなのまち情報宅配便」の依頼がなかったため、実績がなかった。				

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

課No	担当課	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
				事業実績	事業計画		事業目標	
					実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
25	人権・男女共同参画課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	年度当初にマニュアルを通知する。当課事業時に資料等を配布する。 ・「みんなのまち情報宅配便（男女共同参画、人権）」 ・人権、男女共同参画の啓発講座	R5.4.6付け5平人第39号で通知した。 実績：各課が実施する催物等で資料を配布した。（催物4回、計513枚）	計画どおり実施できた	講座等で資料を配布することができたため	達成	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等したため
26	福祉総務課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	各種地域説明会等で必要に応じ、本市の男女共同参画の状況の資料を配布する。	時間の制約等により資料配布はできなかった。	計画どおり実施できなかった	実績記載のとおり	未達成	実績記載のとおり
27	高齢福祉課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」で高齢者に対する事業の説明の際、可能な範囲で男女共同参画の説明を盛り込む他、啓発チラシの配布を行う。	実施回数：1回 配付人数：0人	計画どおり実施できなかった	認知症に関する情報宅配便の依頼が1件あったが、啓発は実施できなかったため	未達成	実績が無かったため目標達成へのプロセスを進められなかったため
29	障がい福祉課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「障がい者自立支援協議会」において、関連資料を配布する等して意識啓発する。	「障がい者自立支援協議会」において、関連資料を配布し意識啓発した。	計画どおり実施できた	協議会を活用して資料配布ができたため	達成	機会を捉えて普及啓発ができたため
31	介護保険課	「みんなのまち情報宅配便」等で職員が地域で説明する際には、配慮した	「みんなのまち情報宅配便」等で職員が地域で説明する際には、配慮する。	「みんなのまち情報宅配便」が開催されたが、資料配布等で意識啓発をすることができなかった。	計画どおり実施できなかった	「みんなのまち情報宅配便」が開催されたが、意識啓発を行えなかったため	未達成	「みんなのまち情報宅配便」が開催されたが、意識啓発を行えなかったため
41	まちづくり政策課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等する。	「みんなのまち情報宅配便」の依頼がなかったため、男女共同参画に関する資料を配布する機会がなかった。				
42	交通政策課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	「みんなのまち情報宅配便」で、資料配布又は、開催挨拶で男女共同参画の現状を伝える。	「みんなのまち情報宅配便」による説明機会が1回あったが、交通安全についての説明や質問等に時間を要し、男女共同参画の現状説明には至らなかったため実績はなかった。	計画どおり実施できなかった	説明時間を確保できなかったため	未達成	資料配布を計画どおりに行えなかったため
44	建築指導課	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の資料を配布した	「みんなのまち情報宅配便」やその他の市民説明の際に、参加者に対して、本市の男女共同参画に関する資料を配布する。	耐震相談会（8回開催）にて、男女共同参画に関する資料の配布を行った。	計画どおり実施できた	耐震相談会を開催（8回）し、その中で資料配布を行ったため	達成	耐震相談会を開催（22回）し、その中で資料配布を行ったため
46	みどり公園・水辺課	「みんなのまち情報宅配便」等で各課職員が地域で説明する際、本市の男女共同参画の状況の資料を配布する等して、意識啓発を行った	「みんなのまち情報宅配便」で、資料配布等で男女共同参画に関する意識啓発を行う。また、本市の公園維持管理における地域活動等の現状を伝え女性の地域活動参加の促進を目指す。	「みんなのまち情報宅配便」を実施する機会がなかったため、実績なし。公園維持管理における地域活動については、公園愛護会の会報等で周知をした。	計画どおり実施できた	公園愛護会の会報等で周知をしたため	達成	公園愛護会の会報等で周知をしたため
71	博物館	「みんなのまち情報宅配便」等で、本市の男女共同参画の状況の資料を配布等した	男女共同参画週間（6月23～29日）の前後に開催する館主催の行事で、チラシ等の配布依頼・送付に応じて協力する。	5月から7月に実施した教育普及行事の参加者に適宜配布し周知した。	計画どおり実施できた	館事業などで参加者に配布し、周知できたため	達成	周知の目的を達成したため

ひらつか男女共同参画プラン2017個別事業【後期】 令和5年度評価（案）

事業	37	各課事業における男性に対する働き方見直しの視点の促進	事業概要	市役所職員に対して、ワーク・ライフ・バランスの推進や働き方の見直しの重要性を理解し、各課事業の中で、男性や働く世代を対象とした事業が、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発する機会も担えるよう、意識と視点について啓発します。
----	----	----------------------------	------	--

課No	担当課	事業の目標 (令和5年度まで)	事業計画 (令和5年度)	事業全体の評価（令和5年度）				
				事業実績	事業計画		事業目標	
					実績評価	評価理由	達成評価	評価理由
17	産業振興課	働く世代を対象とした事業で、働き方の見直し意識の醸成を図った	情報誌「勤労ひらつか」によりワーク・ライフ・バランス等に関する情報を発信する。	「ひらつか労働ニュース」にて、「年次有給休暇の取得促進」（4・8・10月配信済み）、「男女共同参画週間」（6月配信済み）、「育児・介護休業法改正のポイント」・「令和5年度両立支援等助成金」（9月配信済み）、「イクボスプロジェクト」・「神奈川県男性育休奨励金」（12月配信済み）について情報発信した。また、県と連携し、育児休業等の取得促進やマタハラ（バタハラ）防止対策に関するセミナーを開催した。	計画どおり実施できた	ワーク・ライフ・バランス等に係る情報を発信するとともに、関連セミナーを開催するなど、働き方の見直し意識の醸成を図ったため	達成	「ひらつか労働ニュース」に掲載し周知したほか、関連セミナーを開催するなど、働き方の見直し意識の醸成を図ったため
19	商業観光課	男性や働く世代を対象とした事業で、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発した	「商店会長会議」で、資料配布又は、開催挨拶で男女共同参画の現状を一つ以上を伝える。	「商店会長会議」において男女共同参画にかかる資料の配布を行った。	計画どおり実施できた	資料の配布を行ったため	達成	資料の配布を行ったため
25	人権・男女共同参画課	各課の男性や働く世代を対象とした事業が啓発の機会となった	・職員に対し、イクボス通信等で、働き方を見直す必要性の啓発を行う。加えて各課事業が啓発の機会となるよう促す。 ・男性の家事・育児参画啓発リーフレットの内容を見直す。	・イクボス養成研修や、イクボス通信を4回発行し、働き方の見直し等の重要性を啓発した。 ・「男女共同参画啓発資料活用マニュアル」を各課へ通知（5平人第39号）し、各課事業でリーフレットを活用した啓発を促した。他課配布実績（2事業75枚）	計画どおり実施できた	全職員への啓発、各課へ啓発機会の促しができたため	達成	リーフレットの活用で、各課の事業が啓発の機会となったため
32	保育課	男性や働く世代を対象とした事業で、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発した	市内の保育所等に啓発のチラシを配架する。また、「親子であそぼうフェスティバル」の開催挨拶において、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス等の現状を伝える。	市内の保育所、子育て支援センター及びびつどの広場に啓発のチラシを配布した。 R5.10.14(土)開催した「親子であそぼうフェスティバル」の参加者に対し啓発のチラシを配布した。	計画どおり実施できた	広くチラシの配布を行ったため	達成	チラシの配布により、意識の啓発を図ったため
35	青少年課	男性や働く世代を対象とした事業で、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発した	放課後児童クラブ（学童）の「委託事務説明会」等で、男女共同参画の啓発を行う。	令和5年度の委託事務説明会は実施せず、書面での説明となったが、各クラブの個別相談等において、必要に応じ意識啓発を行った。	計画どおり実施できた	委託事務説明会は実施しなかったが、別の機会に啓発を行ったため	達成	委託事務説明会は実施しなかったが、別の機会に啓発を行ったため
63	教職員課	男性や働く世代を対象とした事業で、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発した	定例校長会で市立小・中学校長に向けて、男女共同参画の現状を伝えるなど、各機会を捉えて意識啓発を図る。	定例校長会や年2回の学校訪問の際、全校長に男性のみならず、教職員の働き方の見直しについて意見交換をした。	計画どおり実施できた	全校長と教職員の働き方の見直しについて意見交換をしたため	達成	教職員の働き方を見直す必要性について校長と認識を共有したため
68	中央公民館	男性や働く世代を対象とした事業で、男女共同参画や働き方の見直し意識を啓発した	中央公民館の市民大学講座、市民アカデミー、地区公民館の家庭教育学級等において、男性や働く世代の参加を想定し、日時や内容を考慮して講座を開催する。	父子事業「竹を使った!?親子バウムクーヘンづくり」を実施した。 事業：1事業 参加者：延べ52人	計画どおり実施できた	事業を実施できたため	達成	参加者の育児参加意識が向上したため